

臨時株主総会の招集に際しての 電子提供措置事項

株式会社 R e v i C o の最終事業年度
(2025年3月期) に係る計算書類等に関する事項

株式会社 v i s u m o

株主総会参考書類「第1号議案 株式会社 R e v i C o との吸収合併契約の承認の件」のうち『株式会社 R e v i C o の最終事業年度（2025年3月期）に係る計算書類等に関する事項』については、法令及び当社定款第17条の規定に基づき、株主様に対して交付する書面には記載しておりません。

事業報告
2024年4月1日から
2025年3月31日まで

1. 会社の現況に関する事項

(1) 当事業年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

2024年度のレビューマーケティングツール「R e v i C o」における売上高は前年比64%増となりました。

売上増加に伴い、売上原価も前年比49%増となりました。

これらの結果、売上高177,663千円、経常損益△12,442千円、当期純損益△12,732千円となりました。

② 設備投資の状況

該当事項はありません。

③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

(2) 当社の財産及び損益の状況の推移

区分 \ 期別	第1期 (2023年3月期)	第2期 (2024年3月期)	第3期(当期) (2025年3月期)
売上高(千円)	45,189	108,210	177,663
経常利益(損失)(千円)	△3,692	△7,087	△12,442
当期純利益(損失)(千円)	△3,812	△7,524	△12,732
1株当たり当期純利益 (損失)(円)	△665.15	△501.62	△848.80
総資産(千円)	161,106	159,383	291,367
純資産(千円)	146,187	138,662	125,930
1株当たり純資産(円)	9,745.82	9,244.19	8,395.39

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均株式数により、1株当たり純資産は期末発行済株式数により算出しております。

2. 第1期の事業年度は、2022年10月より、営業活動を開始しております。

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社の状況

会社名	資本金 出資金	当社に対する 議決権比率	主要な事業内容
(株)ソフトクリエイトホールディングス	854百万円	100.0%	株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等

② 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当社のレビューマーケティングツール「R e v i C o」は、他社との差別化を図っておりますが、当社より安価な製品が他社より販売されますと売上機会の損失に繋がりますので、製品の開発を継続すると共に、テクノロジーの進歩にすばやく対応してまいります。

(5) 主要な事業内容（2025年3月31日現在）

レビューマーケティングツール「R e v i C o」又は「R e v i C o関連サービス」のシステム設計、開発、運用、保守及び販売。

(6) 主要な拠点（2025年3月31日現在）

本社：東京都渋谷区

(7) 使用人の状況（2025年3月31日現在）

当社の使用人の状況

使用人数	前事業年度末比増減	平均年齢
13名	4名増	29歳

(注)使用人数は就業人員であります。

(8) 主要な借入先の状況（2025年3月31日現在）

該当事項はありません。

(9) その他当社の現況に関する重要な事項（2025年3月31日現在）

該当事項はありません。

2. 会社の現況

(1) 株式の状況（2025年3月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 普通株式 50,000株
- ② 発行済株式の総数 普通株式 15,000株
- ③ 株主数 1名
- ④ 株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社ソフトクリエイトホールディングス	15,000株	100.0%

(2) 会社役員の状況

取締役及び監査役の氏名等（2025年3月31日現在）

会社における地位	氏名	重要な兼職の状況
代表取締役社長	高 橋 直 樹	
取締役	林 勝	株式会社ソフトクリエイトホールディングス代表取締役会長執行役員 株式会社e c b e i n g代表取締役会長執行役員 株式会社ソフトクリエイト取締役会長執行役員
取締役	林 雅 也	株式会社e c b e i n g代表取締役社長執行役員 株式会社ソフトクリエイトホールディングス代表取締役副社長 株式会社エートウジェイ代表取締役会長 有限会社ティーオーシステム代表取締役社長 株式会社v i s u m o取締役 一般社団法人日本オムニチャネル協会代表理事
監査役	中 桐 雅 宏	株式会社ソフトクリエイトホールディングス取締役専務執行役員 株式会社e c b e i n g取締役 株式会社ソフトクリエイト取締役 株式会社エートウジェイ取締役 株式会社アクロホールディングス取締役

（注）代表取締役社長 高橋 直樹 氏以外の役員報酬等につきましては、事業年度を通じて全員無報酬であります。

(3) 業務の適正を確保するための体制

大会社である取締役会設置会社では、その決定が義務付けられているおりますが、現在、当社の規模において決定義務はありませんが、その重要性を鑑み、全国農業協同組合連合会様の「リスク事案報告基準」等の内容を含め、順次、法定に述べられている内容に付き、検討及び取締役会での決定をおこなっていく予定であります。

決定予定事項

- ① 取締役、使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- ③ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- ④ 当該株式会社並びにその親会社及び子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
- ⑤ 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- ⑥ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項及び監査役の職務を補助すべき使用人の取締役からの独立性に関する事項
- ⑦ 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制及びその他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
- ⑧ 監査役の職務の執行について生ずる費用等の処理に係る方針に関する事項
- ⑨ 財務報告の信頼性を確保するための体制
- ⑩ 反社会的勢力排除に向けた体制

(4) 会社の支配に関する基本方針

特に記載すべき事項はありません。

(5) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

本事業報告中の記載数字は、金額及び比率については、表示単位未満を切り捨てております。

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	158,881,796	流 動 負 債	64,111,030
現 金 及 び 預 金	126,885,112	未 払 外 注 費	9,021,306
売 掛 金	132,000	子未払外注費 (EC	2,621,788
子 会 社 売 掛 金	23,613,084	子未払外注費 (VI	22,000
未 収 入 金	4,296	未 払 金	5,626,386
前 払 費 用	8,247,304	未 払 費 用	3,644,909
		預 り 金	1,932,748
		未 払 住 民 税	290,000
		未 払 消 費 税 等	4,248,800
		未 払 事 業 税 等	217,900
		未 払 給 与	7,289,000
		子会社未払金 (A	484,000
		子会社未払金 (E	17,817,374
		親 会 社 未 払 金	864,819
		賞 与 引 当 金	10,030,000
		固 定 負 債	101,325,402
		長 期 借 入 金	100,000,000
		退 職 給 付 引 当 金	375,402
		役 員 退 職 給 付 引 当 金	950,000
固 定 資 産	132,485,522	負 債 合 計	165,436,432
有 形 固 定 資 産	0	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	0	株 主 資 本	125,930,886
工 具 器 具 備 品	0	資 本 金	100,000,000
建 物 減 償 累 計 額	0	資 本 準 備 金	50,000,000
工 備 減 償 累 計 額	0		
無 形 固 定 資 産	132,485,522	利 益 剰 余 金	△24,069,114
ソ フ ト ウ ェ ア	126,817,522	利 益 準 備 金	0
ソ フ ト ウ ェ ア 仮 勘 定	5,668,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	△24,069,114
		繰 越 利 益 剰 余 金	△24,069,114
		純 資 産 合 計	125,930,886
資 産 合 計	291,367,318	負 債 及 び 純 資 産 合 計	291,367,318

損益計算書

(2024年4月1日から
2025年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額
売 上 高	177,663,002
売 上 原 価	97,224,259
売 上 総 利 益	80,438,743
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	92,740,442
営 業 損 益	△12,301,699
営 業 外 収 益	
受 取 利 息	28,060
雑 収 入	148,264
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	316,667
経 常 損 益	△12,442,042
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 益	△12,442,042
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	290,000
当 期 純 損 益	△12,732,042

株主資本等変動計算書

(2024年4月1日から
2025年3月31日まで)

(単位：円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本準備金	利益剰余金		株主資本 合 計	
			その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
			繰越利益剰 余金			
当 期 首 残 高	100,000,000	50,000,000	△11,337,072	△11,337,072	138,662,928	138,662,928
当 期 変 動 額						
新 株 の 発 行						
当 期 純 損 益			△12,732,042	△12,732,042	△12,732,042	△12,732,042
当期変動額合計			△12,732,042	△12,732,042	△12,732,042	△12,732,042
当 期 末 残 高	100,000,000	50,000,000	△24,069,114	△24,069,114	125,930,886	125,930,886

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1 引当金の計上基準

(1)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担すべき額を計上しております。

(2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

なお、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存期間以内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

2 その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。

監査報告書

2024年4月1日から2025年3月31日までの第3期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2025年5月17日

株式会社ReviCo
監査役 中桐 雅宏 ㊞